

研究区分	学部研究推進
------	--------

研 究 テーマ	国際関係学部・研究科の広報戦略に関する研究				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	田村 敏広
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	剣持 久木
		所属・職名	国際関係学研究科・教授	氏名	澤田 敬人
		所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	奈倉 京子
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	森 直香
		所属・職名	国際関係学研究科・助教	氏名	吉田 航太
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	田村 敏広

講演題目
国際関係学部・研究科の広報戦略に関する研究
研究の目的、成果及び今後の展望
目的 国際関係学部は、平成 30 年度よりカリキュラムを刷新し、基礎教育を充実させ、3～4 年生においては各自の問題関心に応じてより学際的で深い学びができるように、専門教育の見直しを行った。そして、高校生やその保護者、高校関係者に新カリキュラムを広く告知する努力を続けてきた。しかしながら、近年は志願者減の現象がみられ、新しい国際関係学部のイメージはまだ十分に伝わっているとはいえず、広報戦略の見直しが必要である。また、国際関係学研究科では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する留学生の入学制限は大幅に緩和されたが、従来志願者の中心を占めていた留学生の志願者数が今後順調に回復・推移するかは予断を許さない。このため研究科の広報をより効果的に行う必要がある。以上の背景により、本研究では、学部・研究科将来構想委員会、広報委員会、オープンキャンパス委員会、入試実施委員会等が、効果的な広報を行うべく、その戦略を検討し実施することを目指す。 成果 【学部】 昨今の受験生による情報収集先が web に大きく依存していることを踏まえ、学部案内の大幅な刷新を行った。具体的には、従来の 22 ページの冊子体から、ページを 8 ページへと減らし、携帯性の高い冊子体（観音開き）に修正した。また掲載情報を精査し、詳細な情報は QR コードを経由して学部 web ページで案内するなど、web コンテンツとの連携を強化し、受験生にとってより広報力のある学部案内を作成した。また、潜在的な受験生やその保護者を主な対象として、学部の日常を伝える国際関係学部公式インスタグラムを継続的に運営した。 【研究科】 研究科広報においては、株式会社「さんぽう」主催で行われた留学生の大学院進学サポートのための合同大学院説明会（対面）に参加し（5 月 10 日）、さらに外部向け研究科オープンキャンパス（対面、6 月 7 日、6 名参加）、学内向け説明会（6 月 13 日、4 名が参加）、二次入試に向けた大学院説明会（11 月 20 日、学内外参加者 5 名）を実施した。